

予報期間 9月22日から9月28日まで

## ◆今期間のポイント

## &lt;主要しょう乱の概要&gt;

- 台風第25号については最新の台風予報を参照。
- 24日から25日にかけて、高気圧が沿海州付近から日本の東に移動する。
- 26日から28日にかけて、高気圧が日本のはるか東に移動し、前線が本州付近を南下する。

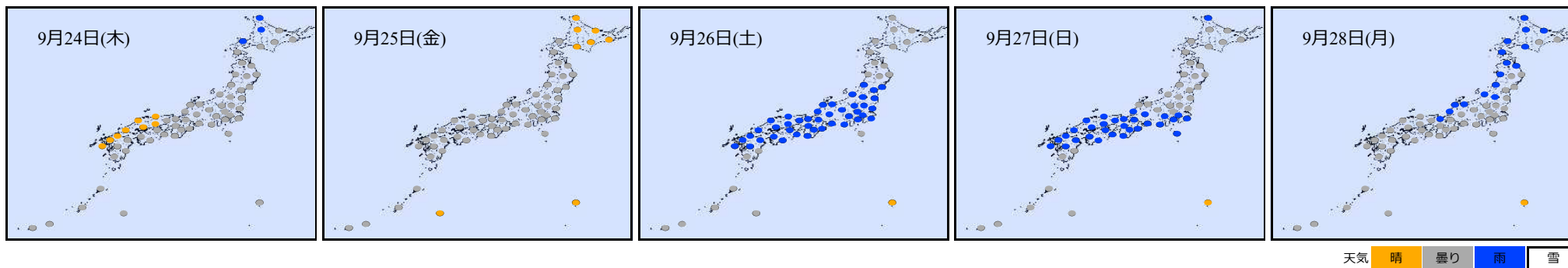
&lt;防災事項&gt; 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- なし。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

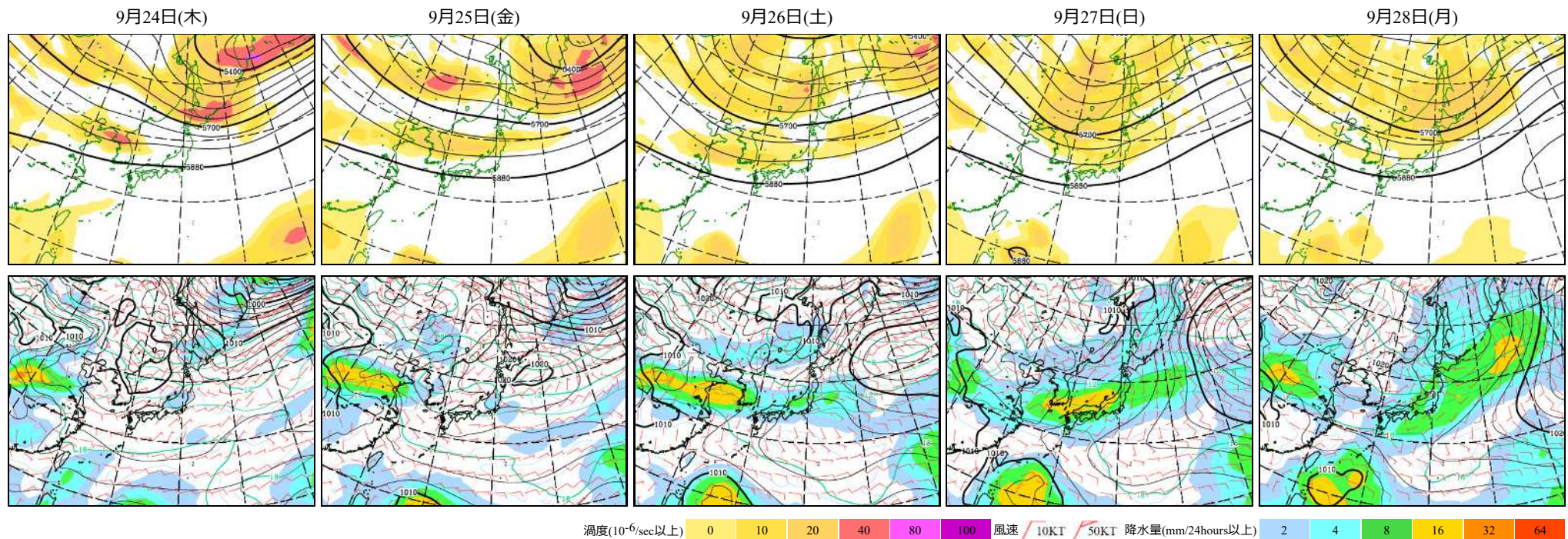
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

## ◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

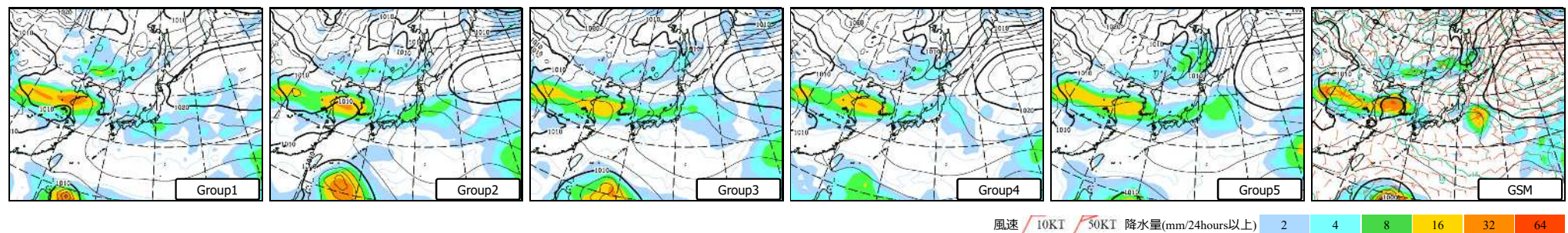


- 北日本は、曇りや雨の降る日が多いが、25日は晴れる所がある。
- 東日本は、曇りや雨の降る日が多い。
- 西日本は、24日から25日は曇りや晴れとなるが、26日から28日は曇りや雨の日が多い。
- 沖縄・奄美は、雲が広がりやすい。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆9月26日のENSクラスター平均(グループ1～5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、24日は、北日本を通過する気圧の谷が明瞭になった。24日から26日にかけて、沿海州から北日本付近を通過して日本の東に移動する高気圧が強くなった。27日は、日本海の気圧の谷が深くなった。
- 各モデル、期間後半に東日本から西日本に前線がのびることを予想しているが、その南北の位置にはモデル間に差がある。27日から28日にかけて沿海州付近からオホーツク海付近に進む低気圧の予想にはモデル間に差がある。
- 降水確率ガイダンスの値は、24日は、北日本で大きくなった。26日から27日にかけて東日本から西日本にかけて大きくなった。
- スプレッドは期間の終わりには大きい、特定高度線のばらつきは小さい。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考えるが、26日以降の前線の位置は海外モデルも参考にする。